

2019年10月24日

公益社団法人 日本鉄道広告協会 中部支部

JAFRA 中部支部「交通広告インターンシップ 2019」 を中部地区 6 大学と実施

公益社団法人 日本鉄道広告協会（以下、JAFRA）中部支部【支部長：阿久津光志】は、鉄道広告に関わる次世代の人材育成を目指し、大学生とのインターンシップ・調査研究事業に 2013 年度より取り組み始め、7 回目となる今年度は、「交通広告インターンシップ 2019」として、インターンシップ参加を希望した中部地区の 6 大学 39 名の学生とともに鉄道広告に関する講義を実施し、鉄道広告への関心・理解を高める活動を行っています。

また、インターンシップの集大成として、協賛広告主からの課題に対してグループワークで学生自らが交通広告の制作を行い、11 月に行われるコンペティションで広告主によって選ばれた作品は、JR 名古屋駅内のデジタルサイネージと大型ボードで掲出をします。今年度の協賛広告主は岐阜県【県知事：古田肇】テーマ「飛騨地方を旅行で訪れたくなる広告」と、東邦ガス株式会社【代表取締役社長：冨成義郎】テーマ「ガスの火の良さが伝わる広告」です。

今後も JAFRA 中部支部は、鉄道広告の発展による国民生活の向上への寄与、中部地区での人材育成についても積極的な取り組みを進めてまいります。

【開催日程・会場】

日時：9月21日（土）、10月5日（土）、11月16日（土） 各日午後開催

会場：ジェイアール東海エージェンシー名古屋本社 会議室

お問い合わせ先

公益社団法人 日本鉄道広告協会 中部支部事務局

（株）ジェイアール東海エージェンシー内 TEL. 052-566-3305 川合、松永